

平成26年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	公明党
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
7	一般会計	民間保育所障がい児保育補助事業	文教福祉分科会

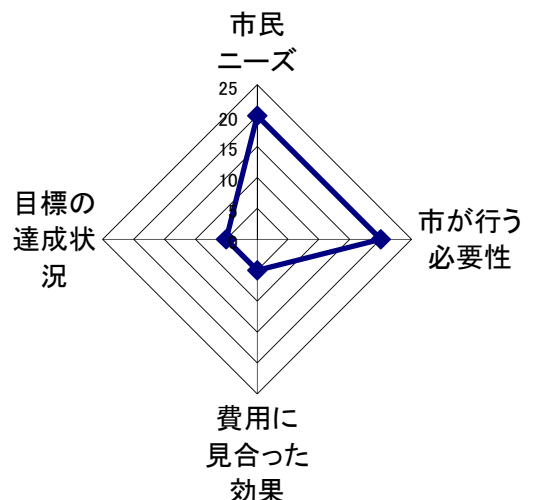
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ○ ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	20	障がい児を保育する為には担当の保育士を加配しなければ受け入れが難しい為、現在3~4件であるが補助制度は必要である。
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	障がいがあるが、行きたい保育園に入れるよう、市が補助する必要がある。
(3) 費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ○ ⑥効果がない(0点)	5	一人の加配保育士給与の1/5程度の補助額では、民間保育園が受け入れるのは難しい。
(4) 目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ○ ⑥成果がない(0点)	5	現状では9園のうち3園で、4人しか受け入れておらず、それも在園中に障がいが見つかった軽度な障がい児だけである。障がい児保育実施保育園の拡大を図る目標には効果が少ない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	50
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)
新たに障がい児を受け入れるとなると加配が必要となる。障がい児保育の為、知識と経験のある保育士を雇用するには費用が掛かる。障がい児保育実施保育所の拡大を図り、障がい児も保育園を選べるようにするには、補助金を上げる等の改善をしなければ困難である。

平成26年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	市民クラブ・維新会
-----	-----------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
7	一般会計	民間保育所障がい児保育補助事業	文教福祉分科会

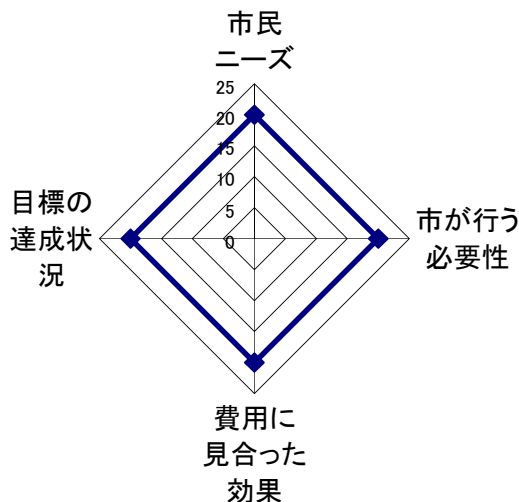
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ○ ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	20	障がい児を預かる民間保育所に加配措置として1児あたり月32,200円を補助しているわけだが、最低限必要なことである。
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点) ○ ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	市が行う必要がある。
(3) 費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点) ○ ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	20	算出方法も根拠があり、適当と思われる。
(4) 目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点) ○ ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	20	4~5名が民間保育所に通い、目標は達成している。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)
民間保育所において障がい児の健全な保育を行うために適正に行われている。待機児童、保育士不足、等の問題があるため、民間保育所では積極的な受け入れは厳しいようだが、一定の効果は期待できる。今後は、助成額を上げる事も視野にいれらるとともに、受け入れる保育所の保育士のスキルアップの為の助成を行うなどの事業拡大を求める。

平成26年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	日本共産党
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
7	一般会計	民間保育所障がい児保育補助事業	文教福祉分科会

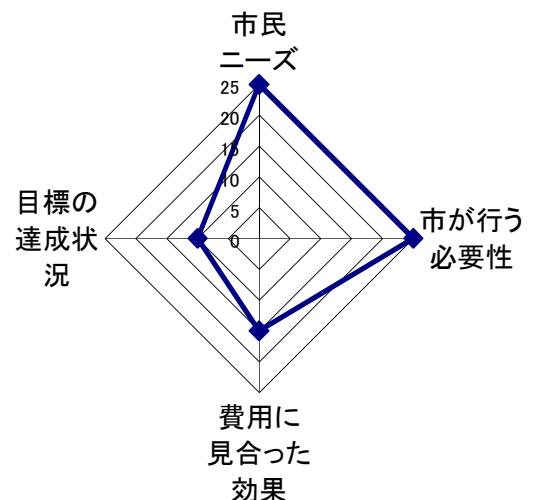
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点) ○ ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	25	
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点) ○ ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	25	
(3) 費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ○ ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	費用で見るべきでない。
(4) 目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ○ ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	75
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)

民間で受け入れるためには妥当で十分な補助を検討すべき。

平成26年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	みんなの党
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
7	一般会計	民間保育所障がい児保育補助事業	文教福祉分科会

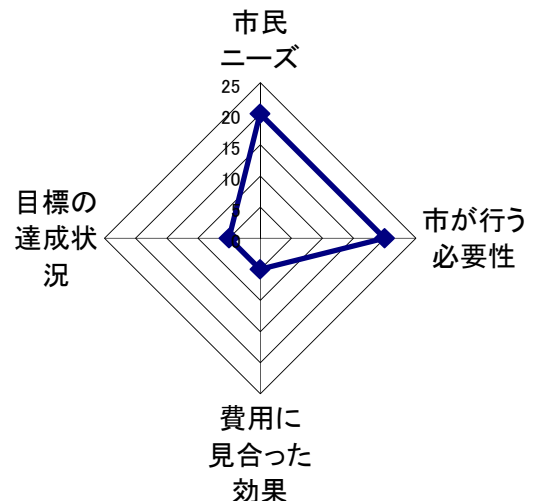
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ○ ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	20	障がい児の保護者の方また、健常者の保護者の方、双方の教育的な考え方からも受け入れ態勢の支援策としてニーズは高いと考える。
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点) ○ ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	民間保育所に対する支援は行政としても積極的に関わる必要性が高いと考える。
(3) 費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ○ ⑥効果がない(0点)	5	現場の民間保育所で伺ったお話からも、現在の補助金額では受け入れ態勢の構築にはほど遠いのが現状である。
(4) 目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ○ ⑥成果がない(0点)	5	現状では入所後の障がい児については民間で対応できている状況だが、入所以前から障がい児を受け入れる体制は構築できていない状況である。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	50
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



現在の補助金額では民間の保育所の現状を考えた場合、障がい児のみなさんを受け入れるためのインフラ整備や保育士さんの給与や待遇も中々厳しいのが現状であると考えられる。しかし、今後受け入れ態勢は拡大していくべきと考えられるし、その為にもこの民間保育所障がい児保育補助事業以外の民間保育所に対する支援策も含め、検討していく必要があると考える。

平成26年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや清流会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
7	一般会計	民間保育所障がい児保育補助事業	文教福祉分科会

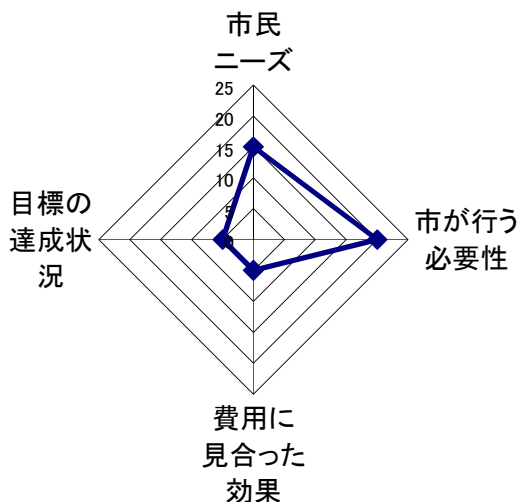
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ○ ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	15	障がい児が希望する保育所で、健全者とともに、保育が受けられる環境を整える必要がある。その意味で障がい児が保育所を選ぶ選択が広がる意味ではニーズは高い。
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	民間保育園が障がい児の受け入れ環境を整える意味では非常に必要性が高い。
(3) 費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ○ ⑥効果がない(0点)	5	費用的には、県に習っての単価設定であり妥当性はみられる。しかし、障がい児の受け入れ数からみると、効果的とは言えず、コスト(金額)的に妥当であるかの検討も必要である。
(4) 目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ○ ⑥成果がない(0点)	5	障がい児の受け入れ状況の低さをみると、目標が達成されているとは言い難い。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	45
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)

民間保育所で障がい児保育の低さに問題がある。民間保育園のコスト(運営経費)の問題なのか、制度的な問題なのか、検討が必要である。補助単価のアップも含めて、本質的な問題解決へのプロセスを導くべきである。

平成26年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや未来
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
7	一般会計	民間保育所障がい児保育補助事業	文教福祉分科会

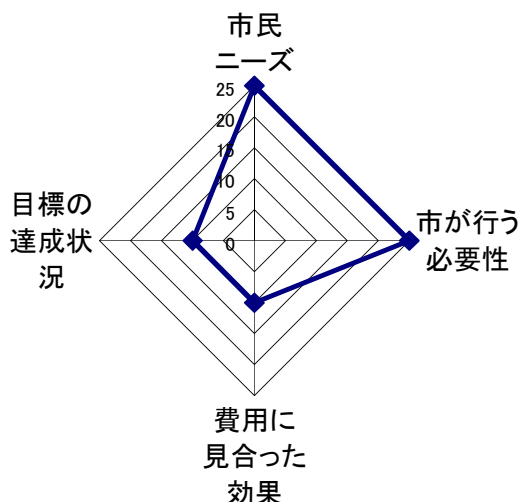
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点) ○ ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	25	障がい児をかかえる保護者が増加している。
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点) ○ ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	25	障がい児を受け入れている保育所に対して保育士の加配支援を行うことが必要である。
(3) 費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ○ ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	費用の面でいえば加配に対する補助金が少ないため受け入れに消極的である。
(4) 目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ○ ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	9園で合計4人しか受け入れていない状況をみれば、もっと加配できるような環境を整えられる補助をすべき。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	70
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)
補助金が少ないため受け入れにどの保育園も消極的であるため、補助金を増やして障がい児の受け入れ態勢を確保すべきである。

平成26年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	結いの会
-----	------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
7	一般会計	民間保育所障がい児保育補助事業	文教福祉分科会

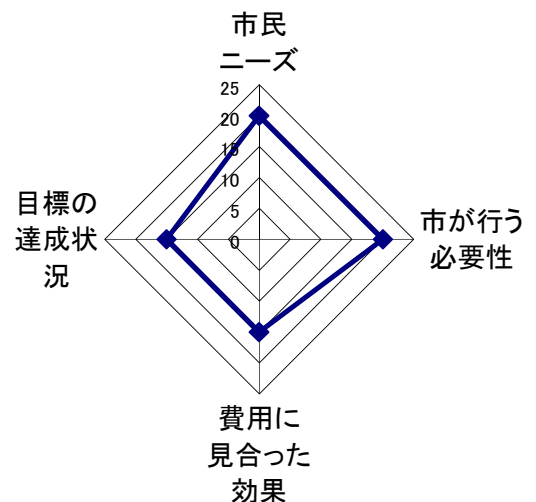
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	○ 20	障がい児が健常な乳幼児との集団保育を行える体制が望まれている。
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	○ 20	公的支援なくして、集団保育体制の維持は難しい。
(3) 費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	○ 15	4人~6人と一定の数の受け入れが見られた。
(4) 目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	○ 15	継続的な受け入れが見られる。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	70
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)

金銭的支援だけでなく、公立保育所との人材交流の促進などにより、高いスキルを持った保育士の確保に務めることが重要と思われる。